

報 道 資 料

令和4年4月22日

文化・教育・くらし創造部
文化財保存課 記念物・埋蔵文化財係
担当：鈴木、向井（内線：5346）
TEL：0742-27-9866（ダイヤルイン）

史跡「^{ずとう}頭塔」令和4年・春の特別公開を実施します

ゴールデンウィーク期間にあわせて、下記の要領で特別公開を実施します。

記

- 概 要：①通常は事前予約制ですが、特別公開期間は、予約不要で見学できます。
②特別公開期間限定でボランティアガイドが常駐し、解説を行います。
※新型コロナウイルス感染拡大の状況次第では、現地のガイドが実施できない場合があります。
③見学の記念に、オリジナルのクリアファイルをお渡しします（先着順）。

日 時：令和4年4月29日（金）～5月8日（日）
毎日 午前9時～午後5時（受付は午後4時30分まで）

場 所：奈良市高畑町921番地 史跡頭塔地内
受付は頭塔南側入口で行います。直接受付へお越しください。

協 力 金：1人300円（10名以上の団体は1人200円）

交通機関：奈良交通 市内循環バスで「^{わりいし}破石町」バス停下車 徒歩5分
※頭塔には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。
※お車でお越しの際は、必ず近隣の駐車場をご利用いただき、路上駐車や
周辺の店舗等への駐車はおやめください。

主 催：史跡頭塔保存顕彰会
（事務局：奈良県文化・教育・くらし創造部文化財保存課）

ホームページ：<https://www.pref.nara.jp/1700.htm>

※頭塔の位置図・概要・写真は別紙のとおりです。

【史跡頭塔 写真と解説】



史跡「頭塔」（ずとう）は東大寺南大門から南に約1kmのところにある、ピラミッド状の土壇からなる非常に珍しい奈良時代の塔です。

かつて、頭塔は奈良時代の僧玄昉（げんぼう）の頭を埋めた墓との伝承があったことが、この名称の由来とされてきました。その後大正11年（1922年）3月8日に国の史跡に指定され、頭塔は奈良時代の土塔と学術的に位置づけられて今日にいたります。

現在の頭塔は、南側については頭塔の森としての価値を認めそのままにし、発掘調査により遺構の状況が解明された北側のみを、昭和61年から平成12年まで奈良県教育委員会によって復元整備を行いました。

この頭塔に類似するものとしては、行基が関与した堺市の土塔があります。

【史跡頭塔へのアクセス】



奈良交通 市内循環バス 「破石町」バス停下車 徒歩5分

※特別公開における新型コロナウイルス感染症対策について

- ・受付で検温を実施しますので、37.5度以上の方は入場をご遠慮ください。
- ・手指の消毒、マスク着用にご協力をお願いします。
- ・一度に多くの見学者が来場された場合は、入場制限をさせていただく場合があります。
- ・新型コロナウイルス感染者が確認された場合の感染経路の追跡のため、入場者のお名前と連絡先をご記入いただくよう、ご協力をお願いいたします。

(ご記入いただいた情報は、新型コロナウイルス感染者が確認された場合の感染経路追跡のためにのみ使用し、他の目的では使用しません。感染の発生がない場合、ご記入いただいた情報は、特別公開終了後2週間保管した後、速やかに廃棄します。)